レンコン（トンネル）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作 型												
主な作業	ト施 植換 ト追芽 追 収 ン肥 え気 ン肥ま 肥 穫 ネ つ開 ネ除わ 出荷 ル け始 ル草し 荷 準 備 除 去											

技 術 体 系

（４）レンコンポート

1 作型の特徴

トンネルビニル被覆により水温を上昇させ発芽を早め生育と根茎の肥大を促進する栽培である。

2 適応地域

水田平坦地域

3 栽培条件

（１）温度

高温多日照を好み、茎葉の生育適温は25～30℃とされている。地温8～10℃に達すれば土中で芽の動きが始まるが芽の伸長は地温が13℃以上になると開始する。レンコンの肥大充実は24～25℃である。

（２）土壌条件

泥炭土、下層泥炭土などの土壌はいずれも有機物が多く、表土が深く、すき床層ができにくいいため、形状が良く表皮の色が乳白色で品質のよいレンコンが収穫できるが、やや低収となる。細粒グライ土は地下水位がやや低いため地温がやや高く多収となる灰色低地土や砂礫のある粗粒質土壌ではレンコンの形状が悪く砂やけなどができやすい。

4 施設装備

- （１）トンネル
- （２）レンコン掘取り機
- （３）ポンプ

5 経営目標

- （１）収量 1.3 t / 10 a
- （２）投下労働時間 230時間 / 10 a
- （３）所得率 40%
- （４）経営規模 40 a
(家族労働力2人の場合)

栽 培 技 術

1 品種と特性

ハウス栽培と同じく

- 「芙蓉種」
- 「金澄系品種」
- 「備中種」

が適している。

2 作付け

栽植距離は畦幅1.8mに株間75cmに植え付ける。10a当たり株数は740株、種レンコンの量は、300～500kgが必要となる。

3 植え付け時期

植え付け時期は3月下旬である。水温が13℃以上になれば早く植えるほど生育が良い。

4 温度管理

植え付け後ただちに1.8～2.0cm幅のビニ

ルでトンネルを被覆する。

立ち葉が高温で傷むと生育が落ちるので、トンネル内が日中30℃以上にならないように換気穴をあけるかサイドを開く。(植え付け後すぐ換気穴をあけてもよい)

トンネル除去時は5～7日前から馴化をし、外気にならす。

トンネルの被覆期間は、4月下旬頃までとする。

5 施肥

施肥割合は、基肥80%、追肥20%とする。追肥は2回程度に分けて行い、最後の追肥は6月上旬頃に終わるようにする。

施肥例	(kg/10a)		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	20	20	20
追 肥	5	0	5
合 計	25	20	25

※石灰窒素(80～100kg)

6 収穫

7月上旬頃から収穫時期となる。

水堀りを行う場合は低水圧で行いレンコン表皮の損傷を少なくし、肥沃な土壌の流失を防除する。